

令和2年度第3回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	令和2年12月16日 10:05～12:05
開催方法	労働者健康安全機構本部 会議室
委員	田極 春美 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士) 遠藤 和夫 (独立行政法人労働者健康安全機構監事) 藤川 裕紀子 (独立行政法人労働者健康安全機構監事(非常勤))
審議事項	1. 令和2年7月から令和2年9月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて</p> <p>令和2年7月から令和2年9月までに締結した契約(1,760件)について、競争性の確保、コスト削減等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件(5件)について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「放射線治療計画装置接続作業一式」について、一般競争入札にて調達した放射線治療計画装置本体と同じ業者との間で随意契約を行っており、当該接続業務を本体入札に含めた一体的な調達に比べ、割高な調達となったのではないかという疑問が残る。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療材料等継続的な購買及び物品管理業務(SPD業務)」について、公告期間及び履行準備期間を十分に確保しつつ、参加可能な新規参加者への声掛けも積極的に行っていただきたい。 ・「学生宿舎内装改修工事」について、競争参加資格において、経営事項資格審査結果通知書に記載された総合評点の設定に際し、一定の業者の質を求めることは理解できるところであるが、応札できる業者を複数者確保する視点からも検討の余地があったと思料される。 ・「材料新技術実験棟1F高速回転等実験室改修工事(ワイヤーロープ式試験機の製造、設置)」について、代理店については、複数業者の存在を十分に調査したうえでヒアリングを実施するなど、入札参加が可能となるような環境づくりに努めること。 ・「共同研究実験棟・運動計測実験室改修工事」について、履行準備期間を4か月程度確保をしたが、特定の機器の調達としては時間不足であったとする理由から応札しなかった意見もあることから、事前の参考ヒアリングを十分に行い、よりの確なスケジューリングに基づく調達を行う必要があると考える。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回に限らず、一読して分かりやすい契約名称とすること。